

第3回香川県がん診療連携協議会議事要旨

1 日 時 平成22年9月17日（金） 16:00～17:48

2 場 所 香川県社会福祉総合センター7階 特別会議室

3 議 事

議事に先立ち、香川県がん診療連携協議会会長である香川大学医学部附属病院の石田病院長から挨拶があった。

引き続き議長の選出があり、石田病院長が選出された。

次に、事務局から、4月1日付けの異動に伴い香川県健康福祉部健康福祉部長 山田 哲也氏の後任として 川部 英則氏、また、三豊総合病院がん診療統括部長 陶山 文三氏の後任として内科部長 山地 康文氏が紹介された。

議長より、本日の協議会は、部会長を交えての会議である旨説明があり、併せて了承された。また、前回第2回香川県がん診療連携協議会の議事要旨について、資料1を確認していただきたい旨依頼があった。

（議事）

（1）平成22年度における具体的な取組策等について

・情報・広報部会

合田部会長から、資料2に基づき、香川県がん診療連携協議会のホームページの掲載状況についての説明があり、今後、概ね半年ごとに掲載内容を確認し、ホームページを更新していきたい旨説明があった。また、一般の人から当協議会のホームページに入りにくいとの指摘があることから、各拠点病院、県及び医師会からのホームページより当協議会のホームページへリンクを張っていただきたい旨依頼があった。

議長から、多くの患者さんに情報を提供するため、県、医師会はもとより各施設のホームページを充実させ広報活動していただきたい旨要請があった。

・研修・教育部会

筧部会長から、資料3に基づき、文部科学省の中国・四国広域がんプロフェッショナル養成プランにおける各種セミナーの実施状況、がんに関わる医療従事者等の研修実施状況、地域連携・パス部会長の進めている地域連携クリティカルパスを実質的に動かすためのセミナーを今後開催したい旨説明があった。

また、各研修に、より多く参加していただくために、実施計画が判明次第、情報・広報部会を通じて、各拠点病院に案内するとともに、医師会に連絡し、医師会報への掲載をしていきたい旨説明があった。

議長から、ホームページにイラスト等を掲載し、見やすく工夫し、逐次情報を流していただきたい旨要請があった。

・緩和医療・相談支援部会

吉澤部会長から、資料4に基づき、緩和ケア研修会開催状況及びその広報の継続・拡充（研修会指導者の育成、県・郡市医師会の連携）、コメディカルに対する緩和ケア研修実績評価にむけて公的認証の要望、がん相談支援センターの充実及び啓発強化（相談件数の増加推進、相談件数算定基準の確認）、がん患者会とのコミュニケーションの増進（がん相談支援センターの活用、県との共同）について説明があった。

議長から、講習会・研修会等の修了者に対する評価については、今後の課題として検討していく必要があること、また、がん相談支援センターの充実については、設置スペース及び人の確保の問題もあるので、県の長期的サポートをいただきたい旨要請があった。

また、寛委員から、「がん患者を支援する条例」について質問があり、川部委員からがん対策条例の制定については、検討すべき課題である旨の回答があった。

・院内がん登録部会

合田部会長の指名により松浦委員から、資料5に基づき、院内がん登録部会実務者会の活動状況、院内がん登録データの統計・分析・評価、がん登録実務者の資質向上、5年生存率の公表・データの検証について説明があった。

議長から、院内がん登録はできるだけ電子化し、各施設の電子カルテからワンクリックでデータが活用できるよう作成してほしい旨要請があった。

寛委員から、がん登録実務者のマンパワーを増やす場合には期限付きの非常勤職員が増えると思われるので、拠点病院間の連携を図り、人材の有効活用を図ることを検討していただきたい旨意見があった。

・地域連携・パス部会

青江部会長から、資料6に基づき、地域連携パス作成のための専門部会の設置状況、各専門部会のメンバーによる地域連携パスの進捗状況、県内医療機関に対するアンケート調査の実施、がん治療連携計画策定料、がん治療連携指導料の施設基準に係る届出に関する関連病院間の協定について説明があった。また、地域連携パスの概要について、部会承認後、がん種ごとにフォーマットが統一されていないことに関し、フォーマットの統一について提案があり、本協議会での判断を仰ぎたい旨の説明があり、承認された。

議長から、地域連携パスは、生涯健康手帳のモデルにもなる企画で、できるならば統一したフォーマットにし、コメディカルの使用も可能になるようデータを共有化していただきたい旨要請があった。

森下香川県医師会長から、アンケートについて、香川県下すべての医療機関に依頼するならば、県医師会の理事会に諮る旨意見があった。

青江部会長から、国立がん研修センターの患者必携について、当協議会を窓口とし香川県版を策定したいとの提案があり、承認された。

(2) 香川県がん対策推進協議会の議事概要について（報告）

起香川県健康福祉部健康福祉総務課主幹から、資料7についての報告があった。

森下香川県医師会長から、医師会としても、今後、検診の受診率が50%以上になるよう力をいれていきたいとの意見があった。

(3) その他

・佐々木香川県健康福祉部医務国保課副主幹から、厚生労働省のヒアリングにおいて、平成23年度がん診療連携拠点病院の整備に関する指針の在り方が検討される旨報告があった。

・議長から、次回第4回香川県がん診療連携協議会は、都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の様子を見ながら開催する旨発言があり、併せて承認された。